

交通事故連続ゼロ記録

3650日達成

物産センター山桜において、2月15日(日)、七会地区交通事故連続ゼロ記録3650日達成記念式典が行われました。



式典の後に行われた交通安全キャンペーン

七会地区では、平成11年1月28日から交通事故連続ゼロ記録を更新しており、平成21年1月28日に3650日(10年間)の記録を達成しました。

式典では、笠間警察署長から交通安全協会城里支部七会分会、七会地区交通安全母の会にそれぞれ表彰状が伝達され、日頃の地域の方々の地道な交通安全活動に感謝の言葉が送られました。

第3回家庭教育学級

1月24日(土)にコミュニティセンター城里で第3回家庭教育学級が開催され、講師に井上忠志先生(フォーラム・ネクスト代表)を迎え、「アンパンマンのマーチに学ぶ生きる勇気」と題した講演が行われました。

井上先生は、参加型学習(ワークシヨップ)やゲームなどを取り入れた講演のなかで、アンパンマンのマーチの歌詞からは学ぶことが多くあり、コミュニケーションが互いの理解を促進していくうえで重要であること、価値観の違いを理解することが大事であることなどをお話されました。

参加者からは、「アンパンマンのマーチの歌詞がこんなにも深い意味を持つとは今まで感じていなかったので驚いた。コミュニケーションの重要性を再認識した。これから、人と人がつながりを大切にするこの意義を子供にも伝えていきたい。それぞれが持つ価値観について考える良い契機となり、人はみんな違っていいのだということを変更して感じた。」などの感想が聞かれました。



赤十字救護車を寄贈

災害救護用の車両「赤十字救護車」が、1月30日、日本赤十字社茨城県支部から城里町分区に寄贈されました。



救護車は、災害救護体制の充実強化のため昭和46年から県内の各地区・分区に配備されており、災害救護をはじめとする赤字の活動や地域福祉の推進に役立てられています。これらは、毎年5月に皆さんからいただいている日赤一般社資、そして事業所や個人からの寄付金(特別社資)などが、費用の一部となっています。町では、新しい車両も含め現在3台の救護車を保有し、業務に役立っています。

J/A水戸 町内小中学校に「米糠石鹸」を寄贈

子どもたちに米の機能性を学んでほしいと、J/A水戸から管内の小中学校に「米糠石鹸」が寄贈されました。

「米糠石鹸」は、米の精米過程で出るぬかから作られたもので、原料には学校給食で食べられている地元産の米が使われています。寄贈されたせっけんは、町内の小中学校で、児童・生徒らの手洗い用せっけんに利用されています。



七会西小で人権教室

子どもたちに人権について考えてもらおうと、町の人権擁護委員が講師を務め、各小中学校で人権教室を行っています。2月20日には、七会西小で阿久津紘委員(小勝)による授業を実施。いじめを題材にしたビデオをもとに、4年生の児童10人が「いじめはその人の未来を変えてしまう。いじめは大人に相談する。」などの意見を発表し、人権について理解を深めました。



介護予防講演会

2月12日(木)、町社会福祉協議会・地域包括支援センター主催による介護予防講演会が行われ、町民ら約300人が参加しました。

講演会では、町の保健師から町の高齢者と介護保険の現状についての説明、県立健康プラザ管理者の大田仁史先生による「介護予防で地域力を高めよう」と題した基調講演、また、地域でふれあいサロンの運営に携わっている方と参加している方によるシンポジウムが行われました。

シンポジウムでは、基調講演を行った大田仁史先生が座長を務め、現在、社会福祉協議会が積極的に支援を行っている「ふれあいサロン」のことなどについて意見交換が行われました。「家にとじこもりがちの高齢者も、実際に「ふれあいサロン」に参加した方の「参加して楽しかった」という声を聞けば、参加への興味を持つきっかけになるのではないかと、などの意見が出されました。



元気でかっこいい子どもに！

1月27日(火)、常北保健福祉センターで常北幼稚園の保護者を対象とした料理教室が行われました。この料理教室は、食育事業の一環として行われたもので、子どもの嫌いな野菜も、おいしく食べられるように、料理の専門家から調理の工夫についてのコツが伝授されました。

この日のメニューは「元気でかっこいい子ども」を育てるというコンセプトで、煮込みハンバーグ、カジキとさつま芋のホワイトシチュー、苺のパパロアが作られました。

地元産の旬の食材を使い、なおかつ栄養バランスのとれた組み合わせで、子どもが苦手とする魚や野菜がおいしく食べられる調理の工夫がされていました。また、盛り付けにもひと手間かけ、見た目にも楽しい料理ができました。

参加した保護者の方からは、「今まで料理は我流でやっていたが、コツをつかむとこんなに違うのかと思った。イチゴの切り方ひとつ変えるだけで、こんなにゴージャスな雰囲気になるとは驚きました」という感想が聞かれました。



この日のメニュー
カジキとさつまいもの組み合わせが意外に合います！

防犯灯が寄贈されました

1月20日(火)に東京電力(株)常陸大宮営業センターから、町に防犯灯5基が寄贈されました。

今回寄贈された防犯灯は、那珂西地区・下坪地区をはじめ町内の各地に設置され、地域の安全や防犯対策のために活用されます。



「わたしたちの唄」をめぐりに表現

2月1日(日)に大洗文化センターで「学校ダンス発表会」(茨城県女子体育連盟主催)が開催され、町内から坏小学校3年生が参加し、「わたしたちの唄」をテーマにしたダンス発表を行いました。

子どもたちは総合的な学習の時間で学んできた、那珂川や桂川、生物や植物など、坏の自然をダンスで表現しました。昆虫や水鳥、清流の魚たち、花や草木、木の葉の舞いなど、豊かな自然の様子を子どもらしく表現した発表に、客席からは大きな拍手が起りました。

ステージに上がる前には緊張していた子どもたちの顔も、発表が終わると、自分たちが作り上げてきたダンスを上手に発表できたことへの満足感で笑顔に変わりました。みんなで力を合わせてひとつのダンスをつくりあげることで、子どもたちは大きな成長をとげたようでした。



梅大使 本町を訪問

1月26日(月)「水戸の梅まつり」のPRのため、水戸梅大使10人が本町を訪れ、赤津副町長、鯉淵議長、三村副議長が歓迎の出迎えをしました。梅まつりは2月20日(金)から3月31日(火)の期間、水戸市の偕楽園や弘道館を会場に開催されます。ぜひ足をお運びください。



石塚ビックス 準優勝

11月29日(土)から4日間の日程で行われた第25回潮来市長杯スポーツ少年団球技大会で、石塚ビックス野球スポーツ少年団が準優勝しました。



第1回古内ドリーム杯開催

1月24日(土)・25日(日)の2日間にわたり、石塚小学校体育館において、古内ミニバスケットボールスポーツ少年団主催によるミニバスケットボール大会が開催されました。

この大会は、少年団を卒団していく6年生をメインとした大会で、近隣市町から12チームが参加して行われました。

- 上位の成績は次のとおりです。
- 第1位 前渡ミニバス少年団
 - 第2位 みのりミニバス少年団
 - 第3位 岩間ミニバス少年団
 - 第4位 古内ミニバス少年団

